

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	納税推進事業(滞納整理システム)				開始年度	平成18年度	
基本目標	健全な財政運営				終了年度		
担当課(局)	税務課	担当係	収納係	記入者	三笠浩三	評価者	田中義基
20年度決算	2,842	千円	21年度予算	2,842	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	7,187 千円		21年度人件費	7,283 千円		事業従事者数	1.00 人 1.00 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	税の滞納者情報を電算システムへ一元化し、事務の効率化と収納率向上を目的とする
事業の内容	経過・交渉の記録、滞納者の納付・滞納状況管理、滞納処分における各種帳票の作成

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 町税収納率(現年課税分)	町税の収納率向上
	2 町税収納率(滞納繰越分)	町税の収納率向上
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 納税相談件数	滞納者の現況確認、調査により納付計画及び誓約書の作成を行い、円滑な納付に導く
	2 差押件数	滞納者の財産(給与、預貯金、不動産、国税還付金等)差押を実施した
	3	

◎達成状況(H21.5.22現在)

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	町税収納率(現年課税分)	目標値			97.50
		実績値	%	97.78	96.69
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	町税収納率(滞納繰越分)	目標値			17.00
		実績値	%	14.75	16.33
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	納税相談件数	目標値			3,000
		実績値	件	2,400	2,880
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	差押件数	目標値			150
		実績値	件	122	115
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	◎個人情報が多々あり、町の単独実施が妥当。 ◎同様のシステムは、県内では日向市、日南市、三股町、小林市が導入。 ◎事業を廃止した場合、紙台帳管理となるため事務効率が大きく損なわれ、税収低下を招く事が懸念される。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	◎滞納者への対応、各種調書の作成が迅速化されている。 ◎収納額・収納率が向上している。 ◎システムの合理化及び制度改正等に適合させるため、改善(保守)が必要。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	◎滞納者一人当たりの折衝までの時間の削減が可能となった。そのことで、今まで時間が足りずに折衝できていなかった滞納者にも対応できるようになり、全体の活動量も増加している。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	◎特になし。

事務事業名	納税推進事業(滞納整理システム)	担当課(局)	税務課
-------	------------------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	事務の効率化と収納率向上のために導入した事業というより、すでに収納係の徴収事務の必須なツールとなっている。今後もこのシステム抜きの事務は考えられないし、むしろより充実させて、全庁的な滞納の整理システムとして利用できるように進めるべきだ。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			○
				現状維持			
				縮小			
				廃止			
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎「町税のコンビニ収納事業」と「納税推進事業(滞納整理システム)」については、「徴収率向上のための事業(例)」として総合的に評価することが良い。 ◎収納対策本部会議などを開催し、システムの共有化や情報の取扱い、収納窓口の一元化について検討するべきでないか。
	コスト	現状維持	